

ハイハイプロジェクト実施報告書

- 1 実施日 平成26年10月14日（火）
- 2 実施団体 宮城県東部保健福祉事務所（石巻保健所）
- 3 対象 管内市町保健師、新生児訪問指導員、管内保育士 等
- 4 会場 宮城県石巻合同庁舎 会議室
- 5 内容 講演「乳幼児の運動発達を促す支援について～からだの根っこづくりは0歳から～」
- 6 参加者数 別添「乳幼児運動発達研修会参加者アンケート等状況」のとおり
- 7 冊子配布 「ハイハイのすすめ」 50部

実施内容

1 講演（120分）

・乳幼児の現状

私が見てきた現状を話し、石巻における保健師さん、保育士さんが感じている現状を話し合い、共通認識した上で、現場で何ができるかのヒントを持ち帰ってもらえるようにした。

- ・体力の基本の“き”について
- ・赤ちゃんの発達
- ・発達支援のポイントと効果
- ・幼児の体力向上の方法
- ・現場で感じた大切なこと

最後に、専門職がその時期にそのタイミングで必要なポイントを伝えてくれることが発達を促すうえで重要であり、行政の専門職が伝えることで地域のほぼ全員の子どものために伝えられるということ。そして、再学習できることを強調し、今の現場の環境で何ができるか？どんな工夫ができるか？を考えてほしいことを強調し伝えた。



保育園での実技（10月15日（水）午前、樋口がお願いして現場での指導を行った）

○ 3～5歳児：発育発達に沿った運動実技

発育発達に沿った運動

（大きな声で数を数える、えんぴつコロコロ、飛行機、エビさん、ハイハイ競争、リング座位でハイタッチなどを行った後で、平均台とソフト積み木を並べグラグラしながら渡るなど）

前後のモニタリング・・・かけっこ、片足立ち、そんきょ



○ 1～2歳児：ハイハイ



【所感】

○講演

保健師、保育士などの専門職はキーマンである。特に行政の専門職は、地域の子どもたちほぼ全員に関わることができる。

自分がそうだったように、行政の職員としての経験を伝えることでそのことを再認識してもらえたら地域が変わっていくと思う。

アンケートにもあるように、保健師、保育士などは経験上運動が大事なことは良く分かっている。私の話を聞いて、「あ～やっぱり」と確信し、自信を持って指導できるようになってほしいと思う。

震災後、鬱や虐待など困った状況やできないことにばかりに意識が向いていたようなので、根っこのところで、できることをやっていくことが大事なことを伝えていきたいと思った。

(担当者からのメール)

私は、初めて聞くお話や、自分達が何となく先輩から教わりやっていた事が、実は根拠があり自信を持って指導・助言して良いとわかりとても勉強になりました。

保育所での子ども達の笑顔、元気な声、きらきらした瞳を見て、障害や生き難さを抱えていても、子ども達が「楽しい」と思える元気な地域であって欲しいと心から思いました。

つい、関わりに苦慮する方、障害、虐待、悩みを抱える親子への関わりが中心となっていた様な気がします。

樋口先生の活動を拝見し、『元気な子はより元気に、元気でない子も今より元気に』と地域全体を元気にしていくことが必要だと感じました。

そこで、NPO 法人健康づくり BTB さんの協力が頂ければ、次年度以降も勉強会と実践を複数回開催させて頂きたく思っています。

やりっ放しで定着しないではなく、10年後も20年後もこの地域に根付く活動になって欲しいと思っています。

できれば、幼稚園や教育機関も巻き込みたいと……。欲張っています。

○保育園での実技指導

大きな声を出せない子、両手でハイタッチできない子（パチンと音を出しことが怖いのか？）、グラグラする環境を経験していないと思われる子（平均台やソフト積み木の上をうまく歩けない）

私の先入観？で見ている節もありますが、今までの指導経験からやはり運動発達が緩やかなお子さんが多いように感じられた。

保育士の方には、ご自身が体験し体で感じることとその環境の中で何ができるかを考えてもらう実技を行えたらいいと思った。

後日保育所長の話では

「とても楽しい時間だった」「つい、遅れている子に目が向きがちだが、皆で楽しく活動できる場が大切だと感じた」と言っていたそうです。

帰り際に子ども達から「明日も来てね」と言われ、大変嬉しかったことと、子ども達はやっぱり思いきり体を動かすことが大好きなんだなと感じた。

これから復興をしていくうえで未来を担う子どもたちが元気であること、意欲のある子どもであることが重要であると思います。特別難しい理論ではなく、人の発育発達に沿った運動はすべての根底にあるものだから、根っこを育てるために地域のキーマンである保健師や保育士に取り組んでもらうためのお手伝いをしていきたいと思います。

平成 26 年 10 月 26 日

報告者 樋口和子